

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
38	工事検査事務経費	01	一般会計		
		02	総務費		
基本施策	99	該当なし	01	総務管理費	
			01	一般管理費	
担当部課名	契約監理課検査室		131	工事検査事務経費	
作成者氏名	土永 瑞穂	連絡先	22-9685(内線2365)	細々目	01
				工事検査事務経費	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	伊賀市発注の建設業法(昭和24年法律第100号)第2条第1項に規定する建設工事並びに製造及び修繕工事を検査対象とし中間検査、出来高検査及び完成検査等の業務の執行。	検査を適正に行なうことで工事による対象の機能・品質を確保し使用に供させる。
本年度事業内容	1. 建設工事等の完成検査 2. 建設工事等の中間検査及び出来高検査 3. 工事の適正かつ円滑な履行に係る確認及び指導助言 4. 考査評価制度の導入 5. 室の庶務	
根拠法令・要綱等	地方自治法第234条の2第1項・地方自治法施行令第167条の15第1項	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	3	3	3
	人件費合計(A)	21,600	21,600	21,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	371	335	335
	消耗品費	199	150	150
	燃料費	90	110	110
	修繕料	60	30	30
	その他	22	45	45
合計(A+B)		21,971	21,935	21,935
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源	21,971	21,935	21,935	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
建設工事等の完成検査	件	194	300	300			
建設工事等の中間検査及び出来高検査	件	19	20	20			
工事の適正かつ円滑な履行に係る確認及び指導助言		随時	随時	随時			

情勢の変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在工事検査に要綱・要領は制定されておらず、「検査事務の流れ」と言う事務文書で処理されているため、「伊賀市工事検査等の事務要領」を制定し、適正な検査事務を行なう。また制定の際、年度末等に検査が集中し検査事務の執行に支障をきたすことがあるため、工事担当課長等と調整して、円滑な検査事務を執行できるよう改正する。</li> <li>・工事関係各課の監督員に対して工事等の関係書類のチェックシートの記載の徹底を指導を行なう。また施工中の工事を抽出し検査室独自で状況を把握するための現場調査を行なう。</li> <li>・工事の適正化や安全の面からも厳格な検査執行をするため検査員が工事検査の技術面・法律面から研究できる専門的な研修に参加する。</li> </ul>
---

評価	達成度	4	「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、適正な公共工事の施工を確保するため、現在導入を検討している工事成績評定の考査評定制度を平成19年度に導入を行なう。
	効率性	4	